

令和4年度
(2022年度)

市議会事務局の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

- ①本会議、委員会等の円滑な議事運営を期する。
- ②市議会の行政監視機能等が十分に発揮できるよう、適正かつ迅速に対応する。
- ③庁内外の各種研修を積極的に活用するなど、人材育成に取り組むことで、事務局全体の機能強化を図る。

重点的な取り組み：本会議、委員会等の適正な運営

本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、きめ細かな調整と迅速な準備を進め、議会全体の更なる機能強化と活性化に取り組みます。

具体的には、通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査等に取り組む常任委員会活動に積極的に関わるとともに、社会情勢やニーズに応じた効果的な議員研修を実施するため、先進事例や講師の情報などの調査・研究を進めます。また、議会の運営根拠や先例等を掲載した例規解説集（十訂版）を編集します。

実績	<ol style="list-style-type: none">① 本会議等をはじめとする諸会議の実施。 <開会議会1回、定例月議会4回、緊急議会1回>② 常任委員会で所管事務調査を実施。 <2回>③ 議員研修会を実施。<2回（うち、1回は録画映像配信）>④ 例規解説集（十訂版）の編集。
説明	<ol style="list-style-type: none">① 開会議会、各定例月議会や緊急議会の本会議をはじめ、決算特別委員会や定例月議会前の委員協議会、その他の会議を円滑に開催しました。 なお、閉会議会は開かれず、自然閉会となりました。② 教育子育て常任委員会が「今後の中学校給食について」を、建設環境常任委員会が「循環型社会への取組について」をそれぞれテーマにした所管事務調査（委員協議会形式）を行いました。 上記①②について、円滑な運営が行われるよう、引き続き事務局としての確かなサポートを行っていきます。③ 11月の大阪府市議会議長会主催の議員研修会「壊されゆく子どもたち—今、私たちがしなければならないこと」は、令和3年度の議員研修に引き続き録画映像配信となりました。また、2月8日に「魅力あるまちづくりに向けたアプローチとは」をテーマとした議員研修会を実施しました。④ 令和5年5月発行に向けて、議会の運営根拠や先例等を掲載した例規解説集（十訂版）の編集を行いました。

重点的な取り組み：ICT化の推進

令和2年度にタブレット端末および文書共有会議システムを導入し、一部の会議資料や議員配付文書を電子化するなど、ペーパーレス化の試行運用を行い、令和3年度では、本会議、常任・特別委員会においてもタブレット端末を活用したペーパーレス化を推進し、令和4年3月定例会議会から本格運用に移行しました。

今年度においては、本格運用の検証に基づく課題整理を図りながら、ペーパーレス化による効率的な会議運営をさらに進めます。

また、タブレット端末をより有効に活用するため、令和3年度において、制限していた機能の一部を解除しました。今年度においてはタブレット端末の活用状況について検証するとともに、さらなる有効活用に取り組みます。

さらに、令和4年3月定例会議会において、オンライン委員会の導入に係る委員会条例等の一部改正案を議決したところであり、今年度においては、オンライン委員会の開催要請があった場合に円滑に運用できるよう、各委員会の形態に応じた実施体制を構築します。

実績	① ペーパーレス化の推進。 ② オンラインを活用した委員会等の実施。 <2回>
説明	① 令和4年3月定例会議会から、議事日程や代表質問要旨等の紙資料はデータのみ、議案書や予算書等の冊子類は電子データと紙との併用とし、令和4年度においてもこの運用を継続実施しました。また、令和4年7月から、それまで紙で運用していた議長・副議長決裁を電子決裁化しました。 今後も、より効率的な会議運営や事務の実施に向け、さらなるペーパーレス化に取り組んでいきます。 ② 教育子育て委員協議会及び決算特別委員会において、委員からの申出に基づきオンラインを活用した会議を実施しました。 今後も、各委員会等の会議運営形態に応じ実施するとともに、必要な検証、課題整理を行い、オンライン会議の着実で安定的な運用に取り組みます。

重点的な取り組み：災害時や新型コロナウイルス感染症対策における活動支援の強化

地震や台風などの大規模災害の発生時に、災害対策本部と連携し、議員の災害対策活動を支援するとともに、「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」などにおいて迅速かつ適切な対応ができるよう、枚方市議会業務継続計画（BCP）の発動を前提とした安否確認訓練、災害時避難訓練の実施や想定される議案の調査・研究に努め、対応行動の習得を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず様々な対応が求められている中、市内の感染状況や市の対応策を迅速に議員間で共有できるよう適切な情報共有と情報提供に努めます。

<p>実績</p>	<p>① 議場における災害時対応行動訓練の実施。 ② 災害対策連絡会議訓練の実施。</p>
<p>説明</p>	<p>① 令和4年12月22日に、議場における災害時対応行動訓練として、議員及び出席理事者を対象に、本会議中に地震が発生した場合を想定し、ヘルメット着用等の身を守るための動作や議場からの避難等、一連の行動を確認しました。 今後も、枚方市議会業務継続計画（BCP）に基づき、地震発生時に限らず火災発生時等も含めた対応行動が取れるよう、継続・反復的な訓練実施を図ります。</p> <p>② 令和5年1月13日に、市議会議員の安否確認を行う災害対策連絡会議訓練を実施しました。今回は市役所に参集できない場合を想定してオンライン方式での会議とし、議長の指揮のもと、各派代表者との情報共有を行い、その後、対面により、訓練の振り返りや今後の訓練方法等の協議を行いました。 今後は、発災時においても速やかに安否確認や情報共有が行えるよう、災害伝言板（web171）の活用等連絡手段の確保に係る訓練にも取り組んでいきます。</p>

重点的な取り組み：市民にわかりやすい情報発信

議会活動に関する情報発信については、現在実施している以下の手法を継続して行います。

- 枚方市議会報、点字議会報及び声の議会報の発行
- 一般質問・代表質問及び議案審議のインターネットによる生中継と、録画映像の配信
- 会議録の発行及びインターネット上における会議録検索システムの運用
- ホームページやツイッターによる情報発信（会議日程、審議結果等）など

また、より効果的な情報発信ツールの調査・研究を進め、引き続き市民ニーズを踏まえたわかりやすい情報発信に努めます。

具体的には、議案書や委員協議会資料について、令和3年度議会改革懇話会最終報告書の内容を踏まえ、データを提供する理事者側と調整を行いながら、ホームページ掲載に向けた取り組みを進めます。

枚方市議会報においては、令和3年度に新企画コーナーを掲載した際に多数寄せられた市民の意見を基に、より親しまれる議会報となるよう、議会報編集委員会の決定に基づき、紙面のカラー化を進めるとともに、掲載内容の改革に取り組めます。

<p>実績</p>	<p>① 議案書等会議資料の市議会ホームページへの掲載。 ② 一般質問、議案審議等の録画映像配信におけるタイムスタンプ等の導入。 ③ 市民からの意見を踏まえた議会報の紙面改革の実施。 ④ 全議員出演動画の制作及び当該動画に係る議会報への二次元コード掲載。</p>
------------------	---

説 明

- ① 令和3年度に設置された議会改革懇話会からの提言を受け、令和4年5月から本会議、特別委員会、常任委員会、委員協議会、全員協議会における議案書等会議資料を市議会ホームページ「議会資料室」に掲載しました。
- ② 一般質問の録画映像は、議員ごとに編集し、再生したい議員の質問が分かりやすいよう、令和4年12月定例会月議会分からサムネイルを作成しました。また、議案審議は、長時間にわたることも多いため、令和4年6月定例会月議会分から議案ごとにタイムスタンプを導入し、市民が閲覧しやすいよう改善を図りました。
- ③ 議会報については、市民からの意見を反映し、紙面のカラー化や用語解説の掲載方法の工夫、子ども向けコーナーの掲載などの紙面改革を行いました。
- ④ 議場紹介や議会報作成までの流れ、新春の御挨拶などの動画を作成しました。また、次任期（令和5年5月）からは議会活動全般を対象としたプロモーション動画の作成に取り組むこととし、その取扱いを議会報編集委員会で担任することを踏まえ、同委員会の名称を議会広報委員会に改めました。